

(様式第4号)

上田市上野が丘公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	第1回上田市上野が丘公民館運営審議会
2 日 時	令和4年10月3日 午前10時から午前11時25分まで
3 会 場	上野が丘公民館 1階 第1学習室
4 出席者	井出操会長、春原一博副会長、櫻井記子委員、洞口秀子委員
5 市側出席者	馬場陽子館長、小林正樹次長、森広主任、堀絹子社会教育指導員、土屋一夫社会教育指導員
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年10月6日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ 会長あいさつ 公民館長あいさつ
3 協議事項 (1) 令和4年度事業(中間)報告及び今後の事業予定について ○資料に沿って、説明後、質疑応答 ・全体事業報告・計画について (委 員) 神科東部史跡めぐりトレッキングについて、神科まちづくり委員会への協力とあるが、具体的にはどのような協力内容か。 (事務局) 物品の貸出、当日スタッフとしての協力、受付場所等の使用など (委 員) 市民の森を会場とした「市民の森芸術祭」について、「わがまち魅力アップ事業」の補助が今年で終了し、今後は豊殿まちづくり協議会が中心となって実施していく予定。公民館からの協力は可能か。 (事務局) 公民館としても、住民自治組織との協力・連携は大切と考えている。できる範囲での協力はしたい。 (委 員) 公民館との協力・共催などの基準はあるか。 (事務局) 明文化しているものはないが、内容等をお聞きした上で、地域づくりや地域の学習につながるかどうかを判断基準として、公民館としてできる範囲で対応している。  ・青少年育成事業について (委 員) 「上野が丘わいわい塾～秋のミバージョン～」は、具体的にになっているのか? (事務局) 該当児童の在籍各小学校に一人一人に届くよう、募集チラシを配布依頼済みであり、すでに応募申込書が届いている。 (委 員) 公民館の大事な事業なので、続けて行ってほしい。 (委 員) 来年から蛇沢自治会が地区自治会連合会の所属変更により上野が丘地域ではなくなるが、子供たちも楽しみにしていたわいわい塾であるため、ボランティアでもよいから出たいという子もいる。なんとか検討してもらえないか。 (事務局) 即答できないが、全体的な公平性の中で検討させていただきたい。 (委 員) 「わいわい塾」は小学生の参加者が中学生になってボランティアとして参加するといういい流れができています。豊殿地区の「hinata bocco (ひなたぼっこ) とよさと」でも子ども食堂

を開設しているが、今は保護者、子ども、大人ボランティアの参加のみ。中学生にも手伝ってもらったらという話も出て、土台はできている。

(委員) 子供のころから地域とつながり、高校、大学、社会人になっても地域とつながることが大事である。公民館活動が地域に根差したものになっているのだと思う。他の事業でも子どもたちが関わると市全体にこういった活動が広がっていく。今後もぜひ続けてほしい。

(事務局) ご意見ありがとうございます。成人した「塾参加者」も運営に参加してくれるようになってきている。大人の思いで規制することなく、子供たちが自由に発想をして協力や参加してほしいと考えている。

#### ・人権同和教育事業について

(委員) 動画配信とあるが、観ない人が多いのではないか。また、集まることが出来ないと一般市民が人権について考える機会がどんどん遠ざかるような気がする。人権問題は勉強し続けることが大切である。そうならないよう方策を検討してほしい。

(事務局) 人権同和教育事業と銘打たなくても、高齢者生涯学級（はつらつかレッジ）の中で地域の居場所づくり、障害者理解など、人とのかかわりやつながり、地域の居場所の大切さをテーマに取り上げて、人権同和の教育を啓発している。

(委員) 企業職場でもジェンダー、障害などあらゆる差別について、教育が行われている。同和教育だけでなく、それ以外を含めた人権問題の教育について、子供時代から学べる機会が必要。

(委員) 同和以外にも、トランスジェンダーなど、それ以外の人権問題がたくさんある。若い世代にも興味を示してもらえるやり方も必要。問題提起の投げ方にも工夫が必要なのではないか。

(委員) 外国籍の子どもたちへの差別も急激に増えている。あまり知られていないが、それらを伝える側になってほしい。

(委員) 同和、学校が取り上げているテーマを挙げていったらいい。分館役員にもそれを主流にしていったらどうか。時代も変わり、同和以外の人権問題もたくさんあり、そちらに重きを置いたらどうか。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。

(委員) 人権関係の絵本の紹介をしているとのことだが、自治会への周知・配布をしているのか。

(事務局) コロナ禍で自治会懇談会が中止、延期となっている自治会も多いため、代わるものとして、人権同和教育推進員へ啓発物品の案内をしている。絵本もその一つ。取り上げていただく場合は、委託料を活用して、購入してもらっている。

(委員) 一括で購入し、全ての自治会へ配布することはできないのか。

(事務局) 自治会の規模もあるし、自治会によって必要とするものも違う。自治会内で考えていただき、推進員と個々にやり取りをして、啓発に役立ててもらおう。

#### ・高齢者生涯学級「上野が丘はつらつかレッジ」について

(委員) 講座は当初に申し込みをしていなくても、参加したい回には参加できるか。

(事務局) 今年度は、飛び入りでも受け付けているし、参加したい回のみでの参加でも可能である。

#### ・利用者団体連絡協議会について

(委員) 利用者団体が活動を休止・自粛する場合、公民館に相談があるか。それとも自団体のみでの判断になるか。

(事務局) 相談は必須ではなく、基本的に自団体で判断していただいているが、公民館への相談もあり適宜対応している。その際には、活動の目安や他団体の状況などについてはお伝えしている。

(委員) 昨年度 (R3) と比較して、利用団体の活動状況はどうか。

(事務局) 個別の利用人数や団体活動数などは比較していないが、昨年度は公民館自体の利用休止期間等もあり、今年度の方が活動をされている団体が多い印象である。

(委員) 農村環境改善センター (豊殿地域自治センター) での活動について、定期的に利用者数や活動日数の把握をしているか。

(事務局) .公民館利用も含めて、団体ごとの活動状況について調査を行ったり、統計をとってはいない。ただし、施設ごと利用状況については記録している。

(委員) 解散した団体があったとのことだが、活動が行われていないなどの状況と関係があったのではないか。

(事務局) 解散した団体については、報告時に聞き取りを行っている。詳細については、教えていただけなかった団体もあったが、直前まで活動はされており、それぞれの団体の事情により今後の継続が難しいとの判断で解散されたと伺っている。

## (2) 令和4年度の修繕等の実績・計画について

○資料に沿って、説明、質疑なし。

## 4 閉会